

コイノニア



ずいぶん過ごしやすくなってきました。制服も冬服になり、そろそろ水筒の中もあったかい飲み物になっていくのではないのでしょうか？寒い季節だからこそ、様々な“あたたかさ”を感じることで、そんなステキな季節を楽しみましょう。11月の聖句は、マタイによる福音書6章25節です。

「だから、言うておく。自分の命のことで何を食べようか何を飲もうかと、また自分の体のことで何を着ようかと思ひ悩むな。命は食べ物よりも大切であり、体は衣服よりも大切ではないか。」

「思い悩むな」と言われても、悩まずにはいられない私たち人間。そもそも悩みがないときなんてあるのでしょうか？いつだって心配なことはありますし、どうしたらいいのだろうと考えすぎて、何もかもが面倒くさくなって、リセットしたいと思ってしまうことがみなさんにもあるのではないのでしょうか？

そうです、私たちが思い悩まないことなんて、ありえないのです！

ではイエスはここで私たちに何を伝えようとしているのでしょうか？

それは、「思い悩むことに自分の全てを支配されてしまっはいけないよ。」ということ、イエスの「思い悩むな」という言葉には、「大丈夫だよ！心配しなくてもいいよ！」というイエスの優しさがつまっているのです。つまり、「私たちは命が与えられてここに生きている。そのことが一番大切なことで、まず、生きてることを大切にしよう。」ということなのです。「生きていて、自分の体があることに感謝する。」ということ。いつもは生きてることが当たり前で、特別に感じることはないかもしれませんが、でも、今、私たちがここに生きていて、みんなと一緒にいることは、本当に奇跡で、特別なことで、そしてとてもうれしいことなんです。

今日、生きているということ、そして多くの人と一緒に過ごしていることに感謝しながら、「いのちの美しさを喜ぶ」生き方をはじめませんか？

聖書・キリスト教の“はじめの一步” #08 「キリスト教の三大祝日」

キリスト教といえば、クリスマスのイメージが強いかもしれませんが、他にもクリスマスに並ぶ大切な祝日があります。イースターとペンテコステです。

クリスマスはイエス・キリストの誕生をお祝いする日、イースターはイエス・キリストの復活をお祝いする日、そしてペンテコステは教会の誕生(成立)をお祝いする日として、キリスト教の教会では特別な礼拝が守られています。

11月の予定

月間聖句 「だから、言うておく。自分の命のことで何を食べようか何を飲もうかと、また自分の体のことで何を着ようかと思ひ悩むな。命は食べ物よりも大切であり、体は衣服よりも大切ではないか。」(マタイ6:25)

月間テーマ 「いのちの美しさを喜ぶ」

20日(金) 収穫感謝礼拝
野菜や果物を持ち寄って礼拝を守ります。献げられたものは、福祉科が実習でお世話になっている施設にお届けし、感謝を分かち合います。

JONAN's History #08

校章の変遷



100周年記念資料館に展示されている校章です。
どの時代の校章が気に入りましたか？

☆今月の「喜ぶ人と共に」大賞☆

3年W組・福祉科の生徒です。進路実現を目指して、そして来年1月に受験する介護福祉士国家試験合格のために、毎日真っ暗になるまで受験勉強に励んでいます。



先生が側にいてくれるから安心！

